

東日本大震災による住宅内放射能汚染の実態と 除染対策に関するシンポジウム

主催：一般社団法人 日本建築学会 環境工学委員会 空気環境運営委員会

日時：2014年2月3日（月）13:00～17:30

会場：建築会館ホール（港区芝 5-26-20）

主旨：

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による東北地方、特に福島県における放射能汚染は同地域に甚大な影響を与えた。これまでに外部空間においては除染作業も進められ、放射能汚染の実態調査も行われているが、住宅内・建物内汚染や住宅内での放射能の実態に関しては、十分に明らかにされておらず、その除染対策も確立していない。そのような実態に鑑み、本シンポジウムは、福島復興プロジェクトを紹介するとともに、福島県における放射能汚染の実態を踏まえて、福島県飯舘村での放射能調査の結果の分析、放射能汚染の計測・除染技術についての検討、疫学的見地からの放射能の危険性評価など、帰村と福島の復興のために学会として今後何をすべきかについて議論することを目的として開催するものである。多数の来聴を期待する。

プログラム

- 13:00～13:10 シンポジウム主旨説明 日本建築学会会長 吉野 博
- 第1部 講演 司会：山中 俊夫（大阪大学）
- 13:10～13:40 「放射能汚染と除染と復興」 川崎 興太（福島大学）
- 13:40～14:10 「福島県における除染状況と放射能汚染の実態」 富田 悟（東京工業大学）
- 14:10～14:40 「放射能汚染計測の詳細」 渡邊 浩文（東北工業大学）
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～15:20 「放射性物質汚染対策 WG 活動報告」 野崎 淳夫（東北文化学園大学）
- 15:20～15:50 「福島県飯舘村住宅内放射線量調査報告」 糸長 浩司（日本大学）
- 15:50～16:20 「放射線の疫学研究の現状と低線量による発がんリスク」 神田 玲子（放射線医学総合研究所）
- 16:20～16:30 休憩
- 第2部 総合討論 司会：田辺新一（早稲田大学）
- 16:30～16:45 「住居での被ばくリスクを自ら考えるための基本情報」 山田 一夫（国立環境研究所）
- 16:45～17:30 討論

参加費： 会員 2,000 円，会員外 3,000 円，学生 1,000 円
(資料代含む／当日会場でお支払いください)

定員： 220 名(申し込み先着順)

申込方法： Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=704> よりお申し込みください。

申込問合せ： 日本建築学会事務局 研究事業グループ 榎本

TEL：03-3456-2051 E-mail：enomoto@aij.or.jp